

仏説阿弥陀經(梵文(聖なる極樂莊嚴と名づける大乘經))

姚秦三藏法師鳩摩羅什奉詔訳(姚興王の後しん よつごう こう)

秦国の三蔵に通じた僧クマラジーバが王命を承つて翻訳

如是我聞(私はこう聞いた)

一時仏在舍衛国(お釈迦様があるときシユラーヴ  
アステイー国の)

祇樹給孤獨園(ジエータ太子の林(祇樹)、アナ  
ータ・ピンダダ園(孤独な者に食を恵む園)に)

与大比丘衆(たくさんのお弟子)  
与大比丘衆(たくさんのお弟子)

千二百五十人俱(千二百五十人と一緒にいた)

皆是大阿羅漢(みんな立派なお弟子で)

衆所知識(世間にもよく知られた方ばかり)

長老舍利弗(長老のシャーリプトラ様や)

摩訶目犍連(マハー・マウドガルヤーヤナ様や)

摩訶迦葉(マハー・カーシャパ様や)

摩訶迦旃延(マハー・カーティヤーヤナ様や)

摩訶俱絺羅(マハー・カウシュティラ様や)

離婆多(レーヴァタ様や)

周利槃陀伽(チューダ・パンタカ様や)

難陀(ナンダ様や)

阿難陀(アーナンダ様や)

羅睺羅(ラーフラ様や)

驕梵波提(ガバーン・パティ様や)

賓頭盧頗羅墮(バラ・ドヴァージャ様)

迦留陀夷(カーローダイイン様や)

摩訶劫賓那(マハー・カッピナ様や)

薄拘羅(ヴァックラ様や)

阿菟樓駄(アニルツダ様)

如是等(といった)

諸大弟子(大變立派なお弟子様ばかりでしたと)

并諸菩薩(このほかにもたくさんのお菩薩様や)

摩訶薩(大變立派な人たち、つまり)

文殊師利法王子(文殊菩薩や)

阿逸多菩薩(弥勒菩薩や)

乾陀訶提菩薩(ガンダ・ハスティン菩薩や)

常精進菩薩(ニティヨードユクタ菩薩)

与如是等(といった)

諸大菩薩(とても偉大な菩薩と)

及釈提桓因等(帝釈天などをはじめ)

無量諸天大衆俱(神々も一緒だったと)

爾時仏告(その前でお釈迦様は語った)

長老舍利弗(長老シャーリプトラ様に向かつて)

### ★注(ここよりお釈迦さまの説法)

從是西方(西の方角に向かつて)

過十萬億仏土(十萬億の仏の国を過ぎた所に)

有世界(ひとつの世界があつて)

名曰極樂(そこを極樂といい)

其土有仏(そこに仏様がおられる)

号阿弥陀(名を、阿弥陀仏と申し上げ)

今現在説法(今まさに説法をしておいでです)

舍利弗(シャーリプトラよ)

彼土何故(その国のことをなせ)

名為極樂(極樂と呼ぶか知っていますか)

其國衆生(その国の人たちは)

無有衆苦(なんの苦しみもなく)

但受諸樂(ただ楽しみだけを受けるから)

故名極樂(極樂と言うのです)

又舍利弗(またシャーリプトラよ)

極樂国土(極樂には)

七重欄楯(七重の欄干と)

七重羅網(七重の網目のカーテンと)

七重行樹(七重の並木があつて)

皆是四宝(これらは四種の宝石できていて)

周匝圍繞(周りを取り囲んでいるから)

是故彼国（だからかの国を）

名曰極楽（極楽と言つのです）

又舍利弗（またシャーリプトラよ）

極楽国土（極楽には）

有七宝池（七種の宝石でできた池があり）

八功德水（八種の功德の水が）

充滿其中（いっぱいに入っていて）

池底純以（池の底はきれいに澄みわたり）

金沙布地（金の砂が敷き詰められています）

四辺階道（池の四方には）

金銀瑠璃（金、銀、ルビーや）

玻瓈合成（水晶でできた道があり）

上有楼閣（その上に楼閣があつて）

亦以金銀瑠璃（これも金、銀、ルビーや）

玻瓈碑磔（水晶、しゃこ貝）

赤珠碼碯（赤真珠、メノウなどの宝石で）

而嚴飾之（美しく飾られています）

池中蓮華（池に咲く蓮の花は）

大如車輪（車輪のように大きく）

青色青光（青い蓮は青い光を）

黄色黄光（黄色い蓮は黄色い光を）

赤色赤光（赤い蓮は赤い光を）

白色白光（白い蓮は白い光を放ち）

微妙香潔（素晴らしい香りがします）

舍利弗（シャーリプトラよ）

極楽国土（極楽は）

成就如是（仏の功德によってこのように）

功德莊嚴（莊嚴されているのです）

又舍利弗（またシャーリプトラよ）

彼仏国土（この極楽には）

常作天樂（素晴らしい音楽が流れていて）

黄金為地（地面は純金できていて）

昼夜六時（昼に三回、夜に三回）

而雨曼陀羅華（マーンタラヴァの花が降る）

其国衆生（極楽にすむ人は）

常以清旦（毎朝必ず）

各以衣祴（花かごを持って）

盛衆妙華（中に美しい花々を盛り）

供養他方（よその国の十萬億というたくさん）

十萬億仏（仏さまにお供えされている）

即以食時（食事時には）

還到本国（極楽へもどつて）

飯食経行（食事して、軽い散歩をする）

舍利弗（シャーリプトラよ）

極楽国土（極楽は）

成就如是（仏の功德によってこのように）

功德莊嚴（莊嚴されているのです）

復次舍利弗（またシャーリプトラよ）

彼国常有（あの極楽はいつでも）

種種奇妙（いろんな見たこともない）

雜色之鳥（素晴らしい色の）

白鵠孔雀（ツルやクジャク）

鸚鵡舍利（オウム、サギ）

迦陵頻伽（鷲）

共命之鳥（キジといった）

是諸衆鳥（鳥々が）

昼夜六時（昼に三回、夜に三回）

出和雅音（美しい音色で啼き）

其音演暢（その啼き声は）

五根五力（五種の能力、五種の力）

七菩提分（七種の悟りへの方法）

八聖道分（八種の聖なる道を説いています）

如是等法（この教えを）

其土衆生（極楽の人々は）

聞是音已（聴き終わると）

皆悉念仏（みな仏を念じ）

ねんぼうねんそう  
念法念僧 (法を念じ、僧を念じるのです)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
によもつじしちよう  
汝勿謂此鳥 (もしやあなたは「この鳥が」  
じつせびごほうしよしよう  
實是罪報所生 (罪の報いで鳥になったとでも?)  
しよいしやが  
所以者何 (いや)  
ひぶつこへど  
彼仏国土 (極楽には)  
むさんまくしゆ  
無三惡趣 (地獄、餓鬼、畜生はありません)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
ひぶつこへど  
其仏国土 (だから極楽には)  
しよむさんまくどうしみよう  
尚無三惡道之名 (地獄、餓鬼、畜生の名もなく)  
がきよううじつ  
何況有実 (実体もない)  
ぜしよしゆちよう  
是諸衆鳥 (つまりこれらの鳥は「鳥ではなく」)  
かいぜあみだぶつ  
皆是阿弥陀仏 (阿弥陀仏が)  
よくりようほうおんせんる  
欲令法音宣流 (教えを宣べ広めようと)  
へんげしよせ  
变化所作 (自ら鳥に姿を変えているのです)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
ひぶつこへど  
彼仏国土 (極楽には)  
みふうすじどう  
微風吹動 (そよ風が吹いていて)  
しよほうじうじゆ  
諸宝行樹 (宝石でできた並木や)  
ぎゆうほうちもつ  
及宝羅網 (宝石でできた網目のカーテンが)  
すいみみようおん  
出微妙音 (美しい音を奏でています)  
ひによひやくせんじゆがく  
譬如百千種樂 (あたかも百や千の楽器が一度に)  
どうじやくき  
同時俱作 (鳴ったかのように)  
もんぜおんしや  
聞是音者 (この音色は聴けば)  
かじねんじよう  
皆自然生 (みな自然と)  
ねんぶつねんぼう  
念仏念法 (仏を念じ、法を念じ)  
ねんそうししん  
念僧之心 (僧を念じる心が起こされます)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
ひぶつこへど  
其仏国土 (極楽は)  
じようじゆによぜ  
成就如是 (仏の功德によつて)  
くごくしよんいん  
功德莊嚴 (このように莊嚴されているのです)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
おによいうんが  
於汝意云何 (どうしてこの仏を)

ひぶつこへ  
彼仏何故 (阿弥陀というのか)  
ごうあみだ  
号阿弥陀 (あなたには分かりますか?)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
ひぶつごうみようむりよう  
彼仏光明無量 (この仏の光は限りがなく)  
しようじつほうしゆく  
照十方国 (あまねく十方を照らし)  
むしよしようげ  
無所障礙 (さえぎられることがない)  
ぜごごういあみだ  
是故号為阿弥陀 (だから阿弥陀というのです)  
うしやりほつ  
又舍利弗 (またシャーリプトラよ)  
ひぶつじゆみよう  
彼仏壽命 (この仏の壽命と)  
ぎゆうこにんみん  
及其人民 (この国の人々の壽命は)  
むりようむへん  
無量無辺 (ものすく長く)  
あそうぎしゆく  
阿僧祇劫 (計り知れないから)  
こみようあみだ  
故名阿弥陀 (阿弥陀というのです)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
あみだぶつ  
阿弥陀仏 (阿弥陀仏は)  
じようぶつじらい  
成仏已来 (仏となつてから)  
おこんじつごう  
於今十劫 (十劫という長い時間が経過している)  
うしやりほつ  
又舍利弗 (またシャーリプトラよ)  
ひぶつごうむりようむへん  
彼仏有無量無辺 (この仏にはたくさん)  
しようもんでし  
声聞弟子 (直弟子がいらっしやつて)  
かいぜあらかん  
皆阿羅漢 (みな聖者の位にあり)  
ひぜさんじゆ  
非是算数 (その数は)  
ししよのうち  
之所能知 (数で表せないほど多く)  
しよほんじゆ  
諸菩薩衆 (菩薩も同じく)  
やへぶによぜ  
亦復如是 (数えきれないほど多い)  
しやりほつ  
舍利弗 (シャーリプトラよ)  
ひぶつこへど  
彼仏国土 (極楽は)  
じようじゆによぜ  
成就如是 (仏の功德によつてこのように)  
くごくしよんいん  
功德莊嚴 (莊嚴されているのです)  
うしやりほつ  
又舍利弗 (またシャーリプトラよ)  
ひぶつこへど  
極楽国土 (極楽に)  
しゆじようしよんいん  
衆生 生者 (生まれた人はみな)  
かいぜあびぼうち  
皆是阿鞞跋致 (迷いの世界へ二度と戻らず)

其中多有 (その多くは)

一生補処 (次の世で仏になる位にあって)

其数甚多 (その数はとても多く)

非是算数 (数で表すことは)

所能知之 (とてもできない)

但可無量無辺 (とてもつもなく長い時間をかけ)

阿僧祇劫説 (説くことができる数ということだ)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

衆生聞者 (この話を聴くだけでも)

应当發願 (極楽へ生まれたいと)

願生彼国 (願いを起こさなければいけません)

所以者何 (なぜなら)

得与如是 (かくも立派な人々と)

諸上善人 (ひとつ所に)

俱会一处 (一緒にいることができるのですから)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

不可以少善根 (ほんの少しの功德や)

福德因縁 (善い行いでは)

得生彼国 (極楽に生まれることはできない)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

若有善男子 (もし心がけの素晴らしい男性や)

善女人 (女性が)

聞説阿弥陀仏 (阿弥陀仏についての話を聴き)

執持名号 (その名を心にとどめ)

若一日 (たとえ一日でも)

若二日 (たとえ二日でも)

若三日 (たとえ三日でも)

若四日 (たとえ四日でも)

若五日 (たとえ五日でも)

若六日 (たとえ六日でも)

若七日 (たとえ七日でも)

一心不乱 (一心にその名を念ずれば)

其人臨命終時 (臨終のとき)

阿弥陀仏 (阿弥陀仏が)

与諸聖衆 (聖者を多く引き連れて)

現在其前 (その人の前に現れるでしょう)

是人終時 (臨終のときがきても)

心不顛倒 (心が乱れず)

即得往生 (たちどころに)

阿弥陀仏 (阿弥陀仏の)

極楽国土 (極楽に生まれるのです)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

我見是利 (私はこれを素晴らしいと思うから)

故説此言 (こうして説いているのです)

若有衆生 (だから)

聞是説者 (この説を聴いた人は)

应当發願 (極楽に生まれたいと)

生彼国土 (心に願わないといけません)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

如我今者 (阿弥陀仏の不可思議な功德を)

讚歎阿弥陀仏 (私がいま)

不可思議功德 (こうしてほめ讃えているように)

東方亦有 (東の方角では)

阿閼鞞仏 (アクシヨビーヤ仏)

須弥相仏 (メール・ドヴァジャ仏)

大須弥仏 (マハー・メール仏)

須弥光仏 (メール・プラバーサ仏)

妙音仏 (マンジュ・ドヴァジャ仏)

如是等 (といった)

恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

出広長舌相 (偽りのない真理のことはを)

徧覆三千 (宇宙全体の)

大千世界 (すみずみまで)

説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしゃる)

汝等衆生 (だからあなた)

当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

ふかしぎくどく 不可思議功德 (不可思議な功德を讃え)

いっさいしよがうつ 一切諸仏 (心から念じている教えだと)

しよねんぎやう 所護念経 (受けとめるべきです)

しやりほつ 舍利弗 (シャーリプトラよ)

なんほうせかい 南方世界 (南の方角では)

うにちがうつせうがうつ 有日月灯仏 (チャンドラ・スールヤ・プラディ

ーパ仏)

みようもんごうがうつ 名聞光仏 (ヤシャツハ・パラバ仏)

だいえんけんがうつ 大焰肩仏 (マハールチ・スカンダ仏)

しよみとうがうつ 須弥灯仏 (メール・プラディーパ仏)

むりようしようじんがうつ 無量精進仏 (アナンタ・ヴィールヤ仏)

によせとう 如是等 (といった)

ごうがしやしゆしよがうつ 恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

かくおほいやく 各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

すいごうちやうぜつせう 出広長舌相 (偽りのない真理のことばを)

へんぷさんぜん 徧覆三千 (宇宙全体の)

だいせんせかい 大千世界 (すみずみまで)

せつじようじつてん 説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしやる)

にょとうしゆじよ 汝等衆生 (だからあなた)

とうしんせしやうさん 当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

ふかしぎくどく 不可思議功德 (不可思議な功德を讃え)

いっさいしよがうつ 一切諸仏 (心から念じている教えだと)

しよねんぎやう 所護念経 (受けとめるべきです)

しやりほつ 舍利弗 (シャーリプトラよ)

さいほうせかい 西方世界 (西の方角では)

うむりようじゆがうつ 有無量寿仏 (アミターユス仏)

むりようせうがうつ 無量相仏 (アミタ・スカンダ仏)

むりようじゆがうつ 無量幢仏 (アミタ・ドヴァジャ仏)

たいごうがうつ 大光仏 (マハー・プラバ仏)

だいまいごうがうつ 大明仏 (マハー・ラトナ・ケートウ仏)

ほうせうがうつ 宝相仏 (ラトナ・ラクシャナ仏)

じよじよごうがうつ 淨光仏 (シュツダ・ラシユミ・プラバ仏)

如是等 (といった)

ごうがしやしゆしよがうつ 恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

かくおほいやく 各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

すいごうちやうぜつせう 出広長舌相 (偽りのない真理のことばを)

へんぷさんぜん 徧覆三千 (宇宙全体の)

だいせんせかい 大千世界 (すみずみまで)

せつじようじつてん 説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしやる)

にょとうしゆじよ 汝等衆生 (だからあなた)

とうしんせしやうさん 当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

ふかしぎくどく 不可思議功德 (不可思議な功德を讃え)

いっさいしよがうつ 一切諸仏 (心から念じている教えだと)

しよねんぎやう 所護念経 (受けとめるべきです)

しやりほつ 舍利弗 (シャーリプトラよ)

ほうほうせかい 北方世界 (北の方角では)

うえんけんがうつ 有焰肩仏 (マハールチ・スカンダ仏)

さいしようおんがうつ 最勝音仏 (ヴァイシュヴァーナラ・ニルゴー

シャム)

なんしよがうつ 難沮仏 (ドウシユ・プラダルシャム)

にっしよがうつ 日生仏 (アーディティヤ・サンバヴァム)

もうみようがうつ 網明仏 (ジャーリニー・プラバ仏)

によせとう 如是等 (といった)

ごうがしやしゆしよがうつ 恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

かくおほいやく 各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

すいごうちやうぜつせう 出広長舌相 (偽りのない真理のことばを)

へんぷさんぜん 徧覆三千 (宇宙全体の)

だいせんせかい 大千世界 (すみずみまで)

せつじようじつてん 説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしやる)

にょとうしゆじよ 汝等衆生 (だからあなた)

とうしんせしやうさん 当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

ふかしぎくどく 不可思議功德 (不可思議な功德を讃え)

いっさいしよがうつ 一切諸仏 (心から念じている教えだと)

しよねんぎやう 所護念経 (受けとめるべきです)

しやりほつ 舍利弗 (シャーリプトラよ)

下方世界 (下の方角では)

有師子仏 (シンハ仏)

名聞仏 (ヤシャ仏)

名光仏 (ヤシャ・プラバーサ仏)

達摩仏 (ダルマ仏)

法幢仏 (ダルマ・ダラム)

持法仏 (ダルマ・ドヴァジャ仏)

如是等 (といった)

恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

出広長舌相 (偽りのない真理のことはを)

徧覆三千 (宇宙全体の)

大千世界 (すみずみまで)

説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしゃる)

汝等衆生 (だからあなた)

当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

不可思議功德 (不可思議な功徳を讃え)

一切諸仏 (心から念じている教えだと)

所護念経 (受けとめるべきです)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

上方世界 (上の方角では)

有梵音仏 (ブラフマ・ゴージャ仏)

宿王仏 (ナクシャトラ・ラージャ仏)

香上仏 (ガンドーツタマ仏)

香光仏 (ガンダ・プラバーサ仏)

大焰肩仏 (マハールチ・スカンダ仏)

雑色宝華嚴身仏 (ラトナ・クスマ・サンプシュ

ピタ・ガートラム)

娑羅樹王仏 (サーレンドラ・ラージャ仏)

宝華徳仏 (ラトノートパラ・シュリー仏)

見一切義仏 (サルヴァールタ・ヴァルシャ仏)

如須弥山仏 (スメール・カルパ仏)

如是等 (といった)

恒河沙数諸仏 (ガンジス河の砂の数ほど多くの)

各於其国 (仏さまがそれぞれの浄土で)

出広長舌相 (偽りのない真理のことはを)

徧覆三千 (宇宙全体の)

大千世界 (すみずみまで)

説誠実言 (響き渡るよう説いていらっしゃる)

汝等衆生 (だからあなた)

当信是称讚 (すべての仏が阿弥陀仏の)

不可思議功德 (不可思議な功徳を讃え)

一切諸仏 (心から念じている教えだと)

所護念経 (受けとめるべきです)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

於汝意云何 (どうしてこの教えを)

何故名為 (すべての仏が阿弥陀仏を)

一切諸仏 (心から念じている教えと呼ぶのか)

所護念経 (わかりますか)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

若有善男子 (もし心がけの素晴らしい男性や)

善女人 (女性が)

聞是諸仏 (すべての仏が説く)

所説名 (阿弥陀仏の名と)

及経名者 (教えの名を聞いたなら)

是諸善男子 (その心がけの素晴らしい男性や)

善女人 (女性は)

皆為一切諸仏 (すべての仏が)

共所護念 (心から念じてくださるので)

皆得不退転 (迷いの世界に戻ることに)

於阿耨多羅 (絶対にない境地に全員が)

三藐三菩提 (到達できてしまうのです)

是故舍利弗 (シャーリプトラよ)

汝等皆当 (だからあなた)

信受我語 (私が説いた教え、そして仏の教えを)

及諸仏所説 (真に受け止めるべきです)

五濁悪世 (五種のけがれに満ちた世界で)

劫濁 (ごうじよく)

劫濁 (つまり、時代のけがれ)

見濁 (けんじよく)

見濁 (思想のけがれ)

煩惱濁 (ぼんのうじよく)

煩惱濁 (欲望のけがれ)

衆生濁 (しゆじようじよく)

衆生濁 (人間そのもののけがれ)

命濁 (めいじよく)

命濁 (寿命のけがれのまっ只中で)

得阿耨多羅 (とくあのかたら)

得阿耨多羅 (最高の悟りを)

三藐三菩提 (さんみやくさんぼだい)

三藐三菩提 (得ただけでなく)

為諸衆生 (いしよじゆじよう)

為諸衆生 (苦しみ迷う人々に)

説は一切世間 (せつぜいさいせけん)

説は一切世間 (この信じがたい教えを)

難信之法 (なんしんしほう)

難信之法 (よくぞ説いてくださった)と

舍利弗 (しゃりほつ)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

当知我於 (とうちが お)

当知我於 (知っておいて欲しい)

五濁悪世 (ごじよくあくせ)

五濁悪世 (私が五つのけがれに満ちた世界で)

行此難事 (ぎやうしなんじ)

行此難事 (この困難を成し遂げ)

得阿耨多羅 (とくあのかたら)

得阿耨多羅 (最高の悟りを)

三藐三菩提 (さんみやくさんぼだい)

三藐三菩提 (ついに得て)

為一切世間 (いっさいせけん)

為一切世間 (この信じがたい教えを)

説此難信之法 (せつしなんしんしほう)

説此難信之法 (人々に説いているということ)

是為甚難 (ぜいじんなん)

是為甚難 (思えば、甚だ困難なことだった)

★注 (お釈迦様の説法は「」まで)

仏説此経已 (ぶつせつしきやうい) (お釈迦様はそこまで語ると)

舍利弗 (しゃりほつ)

舍利弗 (シャーリプトラや)

及諸比丘 (ぎつしよびく)

及諸比丘 (その場にいたお弟子は)

一切世間 (いっさいせけん)

一切世間 (さらにすべての)

天人阿修羅等 (てんにんあしゆらとう)

天人阿修羅等 (天の神々や人、阿修羅たちは)

聞仏所説 (もんぶつしよせつ)

聞仏所説 (お釈迦さまのこの教えを聴いて)

歡喜信受 (かんぎしんじゆ)

歡喜信受 (心から喜び、真に受け止めて)

作礼而去 (さらいに)

作礼而去 (仏に礼拝して立ち去ったという)

(終わり)

舍利弗 (しゃりほつ)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

若有人 (にやくうにん)

若有人 (ある人が)

已発願 (いほつがん)

已発願 (阿弥陀仏の浄土に)

今発願 (こんぼつがん)

今発願 (生まれたいと)

当発願 (とうほつがん)

当発願 (すでに願い)

欲生 (よくしよう)

欲生 (今まさに願い)

阿弥陀仏国者 (あみだぶつこくしや)

阿弥陀仏国者 (これから願うなら)

是諸人等 (ぜしよにんとう)

是諸人等 (その人すべて)

皆得不退転 (かいたくふたいてん)

皆得不退転 (迷いの世界へ戻ることに)

於阿耨多羅 (おあのかたら)

於阿耨多羅 (絶対にならない境地に)

三藐三菩提 (さんみやくさんぼだい)

三藐三菩提 (到達できてしまつのです)

於彼国土 (おひこくど)

於彼国土 (それはすなわち、浄土に)

若已生 (にやくいしよう)

若已生 (すでに生まれ)

若今生 (にやくこんじよう)

若今生 (今まさに生まれ)

若当生 (にやくとうしよう)

若当生 (これから生まれるということ)

是故舍利弗 (ぜこしやりほつ)

是故舍利弗 (だからシャーリプトラよ)

諸善男子 (しよぜんなんし)

諸善男子 (心がけの素晴らしい男性や)

善女人 (ぜんによにん)

善女人 (女性で)

若有信者 (にやくうしんじや)

若有信者 (信仰のある人は)

应当発願 (おうとうほつがん)

应当発願 (極楽に生まれたいと)

生彼国土 (しやうひこくど)

生彼国土 (心に願わなければなりません)

舍利弗 (しゃりほつ)

舍利弗 (シャーリプトラよ)

如我今者 (によがこんじや)

如我今者 (私がいま)

称讚諸仏 (しやうぜんしよぶつ)

称讚諸仏 (こうしてすべての仏の)

不可思議功德 (ふかしぎくどく)

不可思議功德 (不可思議な功徳を讃えるように)

彼諸仏等 (ひしよぶつとう)

彼諸仏等 (すべての仏が)

亦称説我 (やくしやうせつが)

亦称説我 (また私自身の)

不可思議功德 (ふかしぎくどく)

不可思議功德 (不可思議な功徳を讃え)

而作是言 (にさせごん)

而作是言 (こう言っている)

积迦牟尼仏 (しやかむにぶつ)

积迦牟尼仏 (「お釈迦様、あなたは)

能為甚難 (のういじんなん)

能為甚難 (甚だ困難で)

希有之事 (けうしじ)

希有之事 (希有なことを成し遂げてくださった)

能於娑婆国土 (のうおしやぼこくど)

能於娑婆国土 (そのうえ娑婆という)